

## 佐藤壽三郎の議員活動詳報 ことぶき月報 (No.204) 2015年9月号

終世書生気質 <http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた

### 1. 須坂市議会9月定例会の争点

#### (1) 今定例会に提出された注目すべき議案のうち。

##### 1) 須坂市個人情報保護条例の一部を改正する条例案について。

- Q. ①情報の漏洩事実があるや否やのチェック機能について。  
②万一情報が判明した場合の救済措置の手引きはできているのか。  
③個人情報を国家機関がすべて掌握することの危険性について。

##### 2) 決算認定から。

- Q. ①エコパーク推進課関係で、仁礼町役員の最終処分場視察について、「自分たちで費用を負担する。」ことの経緯について。  
②「公金クレジット収納システム」は、果たして納税者の利便性を高める評価に値するものなのか。等外3件

##### 3) 補正予算(案)から。

- ①防災危機管理事業：同報系防災行政無線のデジタル化に向けて、市内の電波不感地帯の調査を行うとすることだが、過去に消防本部がデジタル無線に移行する際に行った調査結果を活用できないか。

#### (2) 今定例会に上程された議案等に対する本会議での私の賛否報告

- 1) 平成26年度須坂市水道事業未処分利益剰余金の処分に関わる 事件決議案外3件 ⇒ 何れも賛成
- 2) 須坂市市税条例の一部を改正するに関わる条例案5件 ⇒ 何れも賛成
- 3) 平成26年須坂市一般会計歳入歳出決算認定外8件に関わる決算認定 ⇒ 何れも賛成
- 4) 平成27年須坂市一般会計補正予算第2号外特別会計、企業会計等7件に関わる補正予算案 ⇒ 何れも賛成

#### (4) 今定例会に示された決議に対する本会議の結果。

- 1) 新学校給食センター建設候補地を仁礼地区にこだわらず、早期建設を求める決議 ⇒ 可決(賛成)

#### (5) 教育委員会委員の同意について

新教育委員に丸山浩恵氏(須坂市八幡町)を任命することについて。  
議会の同意を求められて ⇒ 同意 (賛成)

#### (6) 今議会における私の所管である総務文教委員会調査研究で行った発言内容。

- ①河東線廃線に伴いガード(橋梁)部分が撤去されている。ガード部分の石積み構築物が放置された状態である。そこで軌道は全て人工的に構築されたことを考えると、盛土部分を除去するか否か、石積みを撤去するかを早急に検討すべき時期にあると考えるが如何か。
- ②理美容一元化の規制緩和が為される情報がある。須坂市が理美容一元化を利用できる部分があるか研究する必要があると考えるが如何か。

- ③子宮頸ガンワクチン副反応の問題が全国の各地で起きている。須坂市ではそのような症状は無い報告であるが、本当に副作用は皆無なのか。再調査を指示されたい。
- ④人口減少問題における長野県の総人口、日本の人口の数字の認識を把握するなかで、18歳時の世代の市民が、6年後にどれ程の人数がこの須坂に在住（復元）するかの見識が必要であり、このことは人口減少問題に大きな拘わりを持つと考えるが如何か。
- ⑤納税方法における「公金クレジット収納」は、健全な納税になじまないと史料するが見識は如何か。
- ⑥国は耕作放棄地を対象とした、新たな課税を画策しているが、市は情報を掴んでいるか。
- ⑦ある情報では「全国の児童・生徒の6人に1人が一日一食しか食べていない。」とのことである。この須坂市ではありえないし、あってはならないと信じるが、教育委員会は、給食費の滞納に関しては、滞納の解消策は教育委員会のみで行うことなく、福祉課等との総合複合的に対策を図るべきと考えるが如何か。

## 2. 【研究・この時こそ憲法第9条の正確な概念の把握が必要】

市議会議員である以上、安全保障関連法案の動向が気にかかります。大いに関心を寄せる必要があります。そこで学生時代に読んだ「法学教室」を読み返してみようと思いました。

「法学教室」はご存知のとおり、法律専門出版社有斐閣から、東西一流の法学部の教授が、法律家を志す若き法学徒を対象に、「正確な概念の把握」と「テーマを設けて問題点の論点を見極める」ために、執筆された純粋な法律学問書であります。通称第1期・別冊ジュリスト8冊と、第2期8冊の併せて16冊が時間を置いて発刊されました。当時、法律の勉強会を主宰されていた先輩から読むことを勧められて、貧乏学生でしたが無理して全巻購入しました。

今回はこの16冊から、憲法第9条に関わる論文箇所を摘出して、「正確な概念の再認識」のために、書棚から引き出し読み返してみました。当時、二十歳代そこそこの私にはとて、「法学教室」は極めて難解な内容であり、何遍も読んでも意味が解からず、活字にとらめっこで、頁内の行間を行ったり来たりするだけでした。読んでいる内に日付が変り、FM東京の深夜放送「JET STREAM」が始まってしまい、聞き流しながらも眼は本にとらめっこする毎日でした。時間だけが徒に過ぎるも、青春時代はたっぷり人生の時間があると信じていたあの頃、時間の過ぎ去ることの怖さはなく、もっと知識を習得したい気持ちとは裏腹に、全く歯が立たない法律用語の基礎知識不足や、理解できない気持ちの焦りとの空転が、交錯した苦い思い出が蘇ります。

あれからかれこれ40余年・・・書棚にあるこれらの本も歳月を経てすっかり日焼けして（黄ばんで）います。然し、頁をめくると不思議なことにあの頃のまっさらな頁が現われました・・・

今回、摘出して読み返した箇所は以下のとおりです。

○「法学教室」（別冊ジュリスト・有斐閣）掲載分として

- ①日本国憲法における自衛隊についての種々の見解を挙げ、且つ論評せよ

(No. 1-94 頁~/佐藤功・成蹊大学教授)

- ②自衛隊の国連軍への参加と第九条 (No. 3- p 14~/田畑茂二郎・京都大学教授)
- ③憲法尊重擁護の義務と国民の抵抗権 (No. 5- p 124~/結城光太郎・山形大学助教授)
- ④憲法第九条の思想史的源流 (No. 6- p 19~/田畑忍・同志社大学教授)
- ⑤憲法の改正と変遷 (No. 6-p86~/芦部信喜・東京大学助教授)

○法学教室<第2期・有斐閣>掲載分として

- ⑥憲法の変遷と憲法慣習 (1号 p 20~/川添利幸・中央大学教授)
- ⑦安保条約と憲法第九条 (5号 p 110/隅野隆徳 専修大学助教授)
- ⑧憲法改正の限界 (8号 p 118~/寿田竜輔 成城大学教授)

※文中、教授の在職大学・職名は法学教室発行時を其の俣掲載しました。

これら一連の関係する論文等を読んで、憲法第9条の正確な概念の把握を再認識し、小職の一連の「改憲手続に異議がある」発言は間違っていないと確信します。改めて政府が強行しようとする安全保障関連法案の裁決は、憲法第9条の平和主義を逸脱した全く異質の憲法第9条になってしまい、これらの法の運用によって国家も必然異質な方向に歩み出す危険性を慮るとき、日本は近隣諸国に忌わしい戦争を思い返させ、無用な警戒心を抱かせることとなり、疑心暗鬼による信用を喪失し、結果的に我が国が亡国に繋がる暴挙であり容認することはできません。速やかに廃案すべきものと言上します。【平成27年9月10日記す。】

信濃毎日には10月2日付記事で、長野県出身でともに弁護士出身者として最高裁判事を務めた才口千晴弁護士(77)＝長野市出身、那須弘平弁護士(73)＝伊那市出身＝が1日までに信濃毎日の取材に応じられて、集団的自衛権の行使を可能にした安全保障関連法について「憲法違反の疑いが強い」との認識を示された。同法については違憲判断を求めて提訴を検討する動きが県内外にあり、才口弁護士は「裁判や選挙を通じて法律を廃止に追い込む運動を途絶えさせてはならない」と述べたとありました。将に法律の番人としての心意気未だ冷めずと感じ、多くの国民は揺るがない論理一貫の心根を頼もしく感じると確信します。

### 3. 【研究・須坂の防災と安全・安心】

#### 1) 安心・安全のまちづくりの課題について

○9月30日付J E S E Aは「北信越・岐阜県：石川県日本海側が沈降しており注意が必要。火山噴火も視野に入れて、1、2か月以内に震度5以上の地震が発生する可能性が極めて高い。要警戒。」との情報です。十分ご注意ください。

### 4. 【須坂市の景況感】

◇市内製造業105事業所を対象に実施しました、今年4月から6月期の「企業動向調査」結果ですが、業況が「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を差し引いた業況判断指数D Iの平均はマイナス9.6ポイントで、前期調査結果(1月から3月期マイナス5.9ポイント)の調査結果と比較して、3.7ポイント下回りました。

【平成27年8月31日開会の平成27年9月市議会「市長招集あいさつ」の写し】

ところで、日銀松本支店が1日発表した9月の県内企業短期経済観測調査(短観)によると、業況が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を

引いた業況判断指数（D I）は、**全産業でマイナス6となり、6月の前回調査から7ポイント低下した**。悪化は3期ぶり。前期は2013年12月以来のプラス水準に回復したが、製造業の落ち込みが目立ち、マイナス圏に転じた。【信濃毎日新聞10/1】とあります。最新情報を咀嚼する必要を感じます。

## 5. 【10月期で私が注目したニュースの備忘録】

ニュースの概要	報道機関	月日付
生活保護162万5941世帯＝6月、最多を更新―厚労省	時事通信	9/2
景況感、2カ月ぶり悪化＝世界的株安連鎖が下押し―帝国データ	時事通信	
元最高裁判事が「違憲」指摘＝安保法案、学者2氏支持―学生も意見陳述・中央公聴会	時事通信	9/5
緩和維持、海外経済を懸念＝輸出・生産で判断下げ―日銀 時事通信	時事通信	9/5
7～9月期GDP、1.67%増＝民間予測 時事通信 9/7	時事通信	9/7
ガソリン、9週連続値下がり＝全国平均135.1円	時事通信	9/9
10～12月期の見通しは、大企業がプラス、中小企業はマイナスだった。	時事通信	9/11
内閣支持、最低の38.5% 時事通信 9/11	時事通信	9/11
安保法案今国会採決「反対」39人 市町村長アンケート	信濃毎日	9/12
難民認定、「新形態の迫害」追加＝申請乱用は国外退去も―法務省	時事通信	9/15
人口減克服へ生産性向上を＝女性の就労促進求める―労働経済白書	時事通信	9/15
「地方創生」関連、3億1800万 県補正予算案 総額67億円	信濃毎日	9/16
安保法案、参院委で可決＝与党が採決強行―18日の成立めぐり緊迫化	時事通信	9/17
副作用疑い、1割未回復＝子宮頸がんワクチン、勧奨中止維持―厚労省	時事通信	9/17
安保法案、参院委で可決＝与党が採決強行―18日の成立めぐり緊迫化	時事通信	9/17
県内住宅地 19地点上昇 下落率、5年連続縮小 基準地価	信濃毎日	9/17
副作用疑い、1割未回復＝子宮頸がんワクチン、勧奨中止維持―厚労省	時事通信	9/17
給食費未納、7人を提訴 駒ヶ根の学校給食委員会	信濃毎日	9/18
地方議員も被用者年金に＝成り手不足対応で給付拡充―自民検討	時事通信	9/19
イトーヨーカ堂40店閉鎖＝不採算店中心に、5年で	時事通信	9/18
安保法案成立へ＝内閣不信任案は否決―与野党が最終攻防	時事通信	9/18
子宮頸がんワクチン、6人に医療費＝被害の訴え、初の救済―厚労省	時事通信	9/18
子どもの6人に1人が貧困に苦しむ 日経ビジネス	日経ビジ	8/19
地方創生、出身者に活路＝「ふるさと住民票」構想浮上―	時事通信	9/19
景況感、9カ月ぶり悪化へ＝9月の日銀短観―民間予測	時事通信	9/20
任意接種の11人も救済＝子宮頸がんワクチン副作用―厚労省	時事通信	9/24
物価下落、実感と溝＝相次ぐ値上げで負担増	時事通信	9/25
消費者物価、2年4カ月ぶり下落＝マイナス0.1%、原油安で―8月	時事通信	9/25
景気「一部に鈍い動き」＝基調判断、実質下げ―9月の月例報告	時事通信	9/25
全市町村でネット分離完了へ＝住基のセキュリティー対策―高市総務相	時事通信	9/25
ガソリン、2週ぶり値下がり	時事通信	9/25

再開発中「イオンモール東松本」 複合映画館設置を検討	信濃毎日	9/26
子育て給付金、3000円に圧縮＝低所得者向けは6000円―厚労省 時事通信 9/28	時事通信	9/28
承認取り消し、来月8日以降に＝沖縄県、政府に聴聞実施へ―辺野古埋め立て	時事通信	9/28
検討の経緯、公文書なし＝憲法解釈変更の閣議決定で―内閣法制局	時事通信	9/28
物価の基調、着実に改善＝金融緩和の効果強調―黒田日銀総裁	時事通信	9/28
憲法改正、しばむ機運＝参院選争点化に慎重―自民	時事通信	9/30
道徳教科化で教科書検定基準改正＝公正な記載など求める―文科省	時事通信	9/30
少子化の優良事例を全国展開へ＝子育て支援・働き方改革で指標も―政府	時事通信	9/30
「育休でも通園」認める決定＝所沢市の処分、執行停止―さいたま地裁	時事通信	9/30

**【北信濃鏡】** 9/1 一般質問推敲、自主研究、報道情報整理 /2 初孫誕生、一般質問推敲、元市議申入有、報道情報整理 /3 総務文教委員会現地視察、監査委員協議、報道情報整理 /4 生活環境課協議、報道情報整理 /5 社協会長と協議、自主研究、初孫(妙奏)出生届済、報道情報整理 /6 自主研究 /7 一般質問、広報特別委員会 /8 一般質問で登壇、報道情報整理 /9 一般質問、報道情報整理 /10 一般質問、会派代表者会議、全員協議会、議会運営委員会、安保法についての記者会見、報道情報整理 /11 (予算決算特別委員会・福祉環境分科会、福祉環境委員会)、報道情報整理 /12 二会派学習会、支援者面談、古城荘、報道情報整理 /13 紅葉荘 /14 (予算決算特別委員会・福祉環境分科会、福祉環境委員会) /15 (予算決算特別委員会・経済建設分科会、経済建設委員会)、市民相談、報道情報整理 /16 (予算決算特別委員会・経済建設分科会、経済建設委員会)、古城荘、報道情報整理 /17 予算決算特別委員会・総務文教分科会、総務文教委員会、報道情報整理 /18 予算決算特別委員会・総務文教分科会、総務文教委員会、報道情報整理 /19 議会報原稿推敲、報道情報整理 /20～23 (連休) 自主研究 /21 敬老祝賀会 /24 自主研究、市議との協議 /25 (墨坂祭) 予算決算特別委員会、森林林業活性化委員会、議会運営委員会、報道情報整理 /27 花房流都会、自主研究 /28 行政書士業務 /29 議会運営委員会、全員協議会、本会議、ニッサン(都市計画法遵守・撤去)、報道情報整理 /30 自主研究、報道情報整理

■□■□■□■□ ■□■□■□■□ 発行日 平成27年10月5日

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 寿三郎

<http://www.zyusaburo.com/>